



子どもの言葉を引き出し つなげる教師の役割

日時

平成25年
7月27日(土)
13:30~15:45

参加費
▼
無料

会場 聖徳大学生涯学習社会貢献センター
(聖徳大学10号館)

千葉県松戸市松戸1169
JR常磐線・新京成線「松戸駅」下車、東口徒歩1分

定員 100名(事前申込不要)

主催 聖徳大学児童学研究所

後援 松戸市教育委員会、市川市教育委員会、
柏市教育委員会、取手市教育委員会



13:30
14:10

講演: 「今、なぜ表現力が重視されるのか」

聖徳大学児童学部児童学科教授

一ノ瀬 喜子

14:20
15:45

パネルディスカッション: 「子どもの言葉を引き出しつなげる教師の役割」

聖徳大学児童学部児童学科准教授、聖徳大学附属小学校長

佐藤 幸雄

長野県飯山市立木島小学校、長野県公立小学校元校長

浦野 仁里 先生

内容

「学校力」を話題にした、一昨年(平成24年)の第1回子どもの教育シンポジウムでは、「子ども理解」「授業づくり」「学級づくり」の3つの力を若手教師が獲得していく重要性が語られました。現在、小学校新学習指導要領で掲げられている内容の1つである、児童の「思考力、判断力、表現力」をはぐくむことや、そのために「言語活動」をどう展開するかということが、現場において盛んに模索されています。そして、授業の中で一人ひとりの子どもの言葉を引き出し、認め、子どもどうしの中でつなげていくことが、あたたかい学級の「土」を育てる「学級づくり」にも密接に関連していると思われる。

そこで本シンポジウムでは、今もなお小学校で授業をされている校長先生と、校長職を終えられた後に再び担任をされている先生から、「表現力」を育てる実践報告をしていただきます。授業記録映像も含んだ実践報告を通して、会場の皆様と一緒に、教師の役割を考えていきたいと思います。

お問い合わせ ▶▶▶

聖徳大学児童学研究所(知財戦略課)

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550

電話: 047-365-1111 (大代表)

http://www.seitoku.ac.jp/kenkyujyo/jidou/

